

地元四日市の特産品

## 「万古焼・土鍋」を活用した炊き出し訓練 体験してみませんか!!

### 大災害発生・ライフラインが途絶、そのとき「食」の確保をどうする?

《参加児童の感想文から》

訓練の主役は子どもたちです

いろいろな事を教えてもらい、すごくためになりました。

自分たちで炊いたごはんは、おこげができて、おいしかったです。

映像など見せてもらったが、地震はすごくこわいと、あらためてもしました。

きんきゅう地震速報のことを、はじめて知りました。15秒の間に何ができるのか大事だと思いました。

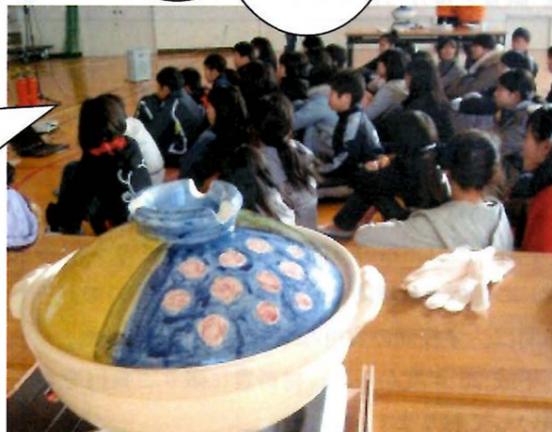


いざというときに、ひなん場所ににげても、そこにいれば、ご飯があるということではないので、いい体験になりました。

いつか、私たちがこの体験をむだにせず、たくさんの人の役にたつように、この体験で学んだことをずっと覚えておこうと思います。

阪神淡路大震災の映像を見て、すごくこわいなと思いました。

東南海地震は、いつおこっても、今おこってもおかしくないと言っていたので、すごくこわくて家に帰ってお母さんに言ったら、お母さんもすごくこわいと言っていました。土なべでいたご飯もすごくおいしかったです。



四日市市 個性あるまちづくり支援事業  
(平成 21~24 年度採択)

平成 23 年度内閣府防災事業  
防災教育チャレンジプラン実践団体に認定



## 土鍋を使った炊き出し体験学習

### (「炊き出し君」) 内容紹介

- 『つくる』『食べる』楽しさを通して、防災を体験的に学習する。
- 災害のイメージや減災への創造力を培い、『自分を守る力』『生きる力』『助け合う力』を身につけ、防災の担い手を育成、拓げる。



### みえ防災コーディネーター三泗ブロック

連絡先	「炊き出し君」担当	
	三泗ブロック事務局	090-3309-1420
	遠藤 克巳	090-4856-7129
	皆川 克久	090-1569-2629

## 21 世紀の災害に立ち向かうのは「今の子どもたち」です!!

21 世紀前半は、広い地域で巨大地震が発生する可能性が高いと言われています。

災害に見舞われたとき、自分を守り、かつ助け合う力を今から育む防災学習の機会に接し、身につけることは大変重要なことです。

### ほうさい・どなべ 「炊き出し君」

ひとたび災害が発生すれば、電気・ガス・水道すべてがストップしてしまいます。

被災した場合をイメージして、その時、どのように「食」を確保するかを工夫する体験学習です。



### 【目 的】

- 学校教育の中で、『つくる』『食べる』楽しさを通して、防災を体験的に学習する。
- 災害のイメージや減災への創造力を培い、自分を守る力、生きる力、助け合う力を身につけ、防災の担い手を広げる。

### 【体験学習の概要4～6年生対象】

- 小学生(4～6年生)を対象に、地元四日市の特産品「万古焼・土鍋」を活用し、100分間の炊き出し体験学習を、保護者を交えて実施する。
- 子どもたちがデザインし、絵付けをした「土鍋」を使用し、「水加減」「火加減」という先祖の知恵を伝承する。
- 米の浸し時間と蒸らし時間を利用して、映像・クイズ等で災害を知り、備えの重要性を学ぶ防災学習を実施する。
- 子どもたちの体験を家庭、地域で話し合ってもらい、防災力向上を図る。

### 【ここがポイント!】

- 災害をイメージできなければ、工夫することも出来ません。「イメージできるかどうか」は、すべての学習において重要なポイントです。
- 「工夫すること」「失敗から学ぶ」ことも重要なポイントです。  
電気・ガス・水道が途絶し、食器も箸もないとき、どのように「食」を確保するのかを工夫させます。作業はできるだけ子どもたち自身で工夫させ、失敗しても、そこから何を学ぶかを重視します。応用力・創造力は、この中から培われます。

- 会場の準備から後片付けまで、出来るだけ子どもたち自身で作業を行うことを重視します。
- 体験学習から何に気付いたかを振り返ってもらうため、感想文の提出をお願いします。  
これは、生徒自身が主体的に学び、自ら気づきを得ることを促すものです。

### 【期待される効果・ここがおすすめ!】

- 子どもたちが災害に対する意識を持つことにより、家庭・地域の防災力が向上し、防災コミュニティづくりが進み、将来を担うリーダーを育成することができる。
- 学校との連携、地域の連携を助け、地域防災力の向上が図られる。
- 小さな『土鍋』を使用することで、災害時に隣近所などの小さな単位で『食』を確保、協力する防災コミュニティづくりにつながる。
- 小さな単位でつくることで、アレルギー食や病人食、高齢者対応など、災害時要援護者対策につながる。



### 体験学習の事例と時間配分

〈三重小学校 平成 27 年度実施〉

対象学年：6年生 66名 12班編成

体験時間：1～2限目 (8:45～10:35)

会 場：体育館

- ① 開催あいさつと注意事項(中央集合)・・・5分間
- ② 班別作業(炊き出し準備)・・・15分間
- ③ 映像による地震学習(中央集合・浸し時間) 20分間
- ④ 班別作業(炊き出し)・・・20分間
- ⑤ クイズ実施(中央集合・蒸らし時間)・・・10分間
- ⑥ 試食と後片づけ・・・40分間

### 経費負担について(お願い)

この『炊き出し君』事業は、平成 21 年度から 4 年間、四日市市の「個性あるまちづくり支援事業」に採択され補助金交付を受けましたので、その間は、学校側の負担なしで運営出来ました。

平成 25 年度からは、材料費に限りご負担をお願いしております。

### 平成 28 年度 1 班当り材料費

米 4 合	@363 円/kg×0.6 kg	=218 円
ガスボンベ	@488 円/3 本×1/5	= 33 円
ラップ	@340 円/本×1/10	= 34 円
合 計		285 円
5 班当り材料費		1,425 円
10 班当り材料費		2,850 円